



2011年10月5日

## 飯野ビルディング竣工披露宴挨拶文

代表取締役社長  
関根 知之

本日は、ご多忙にもかかわらず、当社飯野ビルディングの竣工披露宴にお越し頂き、誠に有難うございます。ご臨席の皆様方には常日頃よりご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

振り返りますとこの飯野ビルディングの建替え計画に着手したのは2006年のことでございます。旧飯野ビルディングは、1960年、昭和35年に竣工いたしました。当時としては大型でモダンなオフィスビルとしてその竣工時から衆目を集めていました。ビル内にイイノホールを擁し、落語や映画の試写会などで多くの皆様に親しまれてまいりました。まだまだ十分現役として通用するビルを取り壊し、新しいビルを建替えることは非常に勇気のいる判断でございましたが、OA化、セキュリティー、BCPといった年々高まるオフィステナント様からのニーズに応え、所有不動産の価値をより高めるためにビルの建替えを決断した次第です。

ビルの建替えにあたっては、旧飯野ビルの設計・施工をお願いした竹中工務店様に今回も旧飯野ビルの解体工事及び新しいビルの設計・施工を御願い致しました。また、日建設計様に、設計監修、工事監理を御願い致しました。2008年8月、旧飯野ビルの解体工事に取り掛かり、2009年3月、新築工事に着工いたしました。工事着工から約2年半、竹中工務店様、日建設計様、ご両社のご尽力により、かくも素晴らしいビルを建てて頂きました。完工間近となった今年3月には東日本大震災が発生し、資材メーカーさんが被災されたため、一部資材の納品時期が不確定となるなど多少の混乱が生じましたが、関係の皆様方のご尽力により当初の予定通り、無事ビルの竣工を迎えることができました。無事故で工事を完工して頂いた竹中工務店様及び工事に関し様々なアドバイスを頂戴しました日建設計様には改めて御礼申し上げます。

また、建替え資金につきましては、日本政策投資銀行様、みずほコーポレート銀行様はじめ日ごろより大変お世話になっております金融機関12社様よりご融資を頂きました。誠に有難うございました。

さて、今回の大震災とその後の電力供給問題により、オフィスビルの安全性、環境性能がよりクローズアップされてきています。新しい飯野ビルディングは、制震構造を採用し耐震性能をより強化し安全性を高めております。また、四面ダブルスキン構造、全館 LED 照明、デシカント空調機の採用など現在考えられる最先端の環境対応を施し、省エネと快適なオフィス環境の両立に対応しております。そうした点を評価頂き、日本政策投資銀行様のグリーンビルディング認証制度における最上級の評価ランクである“プラチナ認証”を、同行から授与されました。また“CASBEE”“LEED”といった日本ならびに米国の各種環境評価においても上位の認証を取得する見込みでございます。

今回のビル建替えのコンセプトは“100年先にも愛されるビル”であります。サステナビリティを重視し、先ほど申し上げたような安全性、最先端の環境性能、テナント様の利便性などを提供するとともに、旧飯野ビルの持っていた伝統の継承も図っています。旧飯野ビルで使われていた大理石の再利用や旧イイノホールのロビーに飾られていた壁画作品の新しいイイノホールへの移設などデザイン面でもその繋がりを重視しております。加えて当社主力事業である海運業をモチーフとしたデザインも随所に取り入れました。

建設着工後にリーマンショックを経験し、賃貸オフィス市況も厳しい環境下となりましたが、お蔭様でゆうちょ銀行様、かんぽ生命様、川崎汽船様、双日様にご入居頂くことが決定し、満床でのビルオープンを迎えることが出来ました。また、地下一階を中心とした商業テナント様の区画も、お蔭様でほとんどの区画が契約済みとなっております。ご入居頂くテナントの皆様、今後長いお付き合いを頂きますよう宜しくお願いいたします。

ご承知の通り、当社は海運業と不動産業の2つの事業を核としております。新興国経済の台頭により外航海運業に対する需要は高まっているものの、グローバル化の進展により海運市況の振幅がより大きく、またより短期的になってきております。欧州の財政問題や世界経済の減速懸念さらには現在私どもを大いに悩ませている円高という経営環境の中で、企業として安定収益源の確保は優先的命題であり、当社はそれを船舶の長期契約と不動産業において実現したいと考えております。今回の飯野ビルディングの竣工は、当社の安定収益基盤の強化に寄与するものと確信しております。

当社は、今年7月に創業112周年を迎えました。創業以来、企業として100年以上何とかやってこられたのは、本日ご臨席の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。そして、次の100年に向けてしっかり進んでいく中、今回“100年先にも愛されるビル”を目指した飯野ビルディングが竣工いたしました。今後とも皆様のご期待に応えられるよう役職員一同一層の努力を怠りませんので、引き続き飯野海運及び飯野ビルディングを宜しくご愛顧頂きますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして本日ご臨席の各社のますますのご発展と皆様のご健勝をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠に有難うございました。

以上